

●三位一体後第六主日

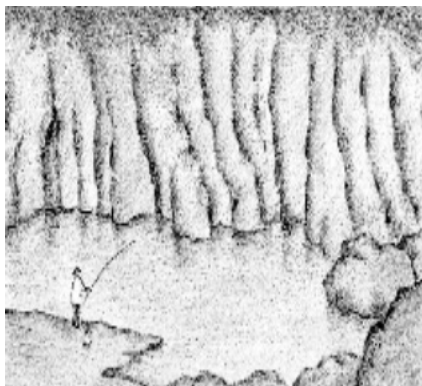
泉のほとり

今月の詩編「第三六編」

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され

再び立ち上がることはない。



主のおしえを生きる幸

十戒の学びに続き、今回は主の教えと戒めに生きる幸いを証する詩篇一篇に目を向けます。全150篇の最初に置かれ、全体を通して「幸いな者」の姿を響かせているこの詩篇は、「どんな人が幸いなのか」との問いに、まず「悪しき者のはかりに歩まず、罪人の道に立たず、嘲る者の座につかない人」だと答えています。不思議なことに、積極的に「善をなす」「隣人愛に生きる」ではなく、まず「〇〇しない」という戒めと重なります。そして、善をなすことは、してはならないことをしない人にこそなし得ることです。例えば、人を嘲らない心を持つことは、隣人の尊厳を大事にしているからにほかなりません。

あらゆる悪、罪、溢れるほどの嘲りに満ちた世にあつて、自分たちだけがそれらの道に歩まないことがいかに輝かしいことかとも気付かされるのです。ますます、この世から贖い出され、聖別されたことがなんと大きな恵みであるか、その幸いに気づかされるのです。

その幸いを知る人は、「主の教えに喜びがあり、その教えを昼も夜も口ずさむ人」となります。主の教えが自分をまっすぐにし、揺るがない堅固な者に立たせるゆえに、心からの喜びを見出すのです。「昼も夜も」とあるのは、どこで何をしても、どんな境遇に置かれても常に神の教えから物事を見て判断し行動する信仰を表していると思います。

詩人は続けて、その人は「流れのほとりに植えられた木のようにある。時が来ると実を結び、その葉は枯れず、なすことはすべて、栄える」と証しています。これは、カナンの地に入る前のヨシヤに語られた「律法の書を昼も夜も口ずさむなら、行く先々で栄え、成功する」という御言葉と重なります。

「栄える」とは、険しい試練やイバラのような困難が一切ないという意味ではありません。ヨシヤは外敵や内なる不信仰と対峙していました。あらゆる悪や嘲りの世を生きる時、

どれほど厳しい状況にあつても主の教えに生きるなら、時が来れば必ずよき実を結ぶと信じ、主の教えから右にも左にも逸れずに生きる信仰は私たちにも同様に求められる信仰です。

反対に、神に逆らう悪しき者は「風に吹き飛ばされるもみ殻のようである」と語られます。昨今、不安ゆえに若い人たちも占いに自分の今後のことを聞くことも多いとの話も耳にしています。主の教えがあり、明確に道が示されているのに、悪霊に自分のことを聞くことは、自分のたましいを売るような行為です。絶対にあつてはならないことです。

明確にしたいのは、神がおられる。神の教えがある。揺るがされず、吹き飛ばされることなく、強く、雄々しく生きられる道が明確に示されているのです。どのような場面、時においても、示された確実な道があり、主の教えは必ず、人によき実を結ばせる泉であることです。私たちはその信仰に生き、豊かな実を結んで生きるために召されたものです。

他方、悪しきものとは誰のことでしょうか。これまで耳を傾けてきた十戒は、私たちの悪しき心を加減なく照らしました。十戒を通し、自分のこれまでの歩みを振り返り「まさに自分ほもみ殻のようであった」と見る人がいるなら、主の教えに向き直るその真摯な心を主は大いに喜ばれます。主はその人を蔑まれることはなく、その信仰は神に義とされ、正しいとされるのです。神は、枯れきつて死ぬ運命にあつた者を世から贖い出し、流れのほとりに植え替えて、罪や悪から癒やし、豊かな実を結ばせてくださるのです。

主の教えは、必ず私たちを癒やし、分別を与え、悪しき者の道から遠ざかつて、生きるように導きます。ですから主の教えから遠く感じる自分と向き合っても落胆することなく、嘘偽りなく向き合うことができるのです。なすべきは、私のために大きなことをなされたわが主の御名のために、示された教えに右にも左にも逸れず誠実に生きるのみです。

《私たちのビジョン》

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《2026年度

教会全体課題》

神さまによって

示された新しい歩みの中で、

キリストの体としての一致を

祈り求める

コミュニケーション、交わり、

伝道、学びなどを通してー

《今日のお知らせ》

○ 本日は諸聖徒記念礼拝です。すでに眠りにつかれた諸聖徒を記念し、その写真を掲げて礼拝をします。

○ 礼拝後、交わりの会と愛餐会を地下ホールで行います。どうぞご参加ください。

○ 愛餐会后、教会員懇談会を行います。教会員の方は、先週配布された資料をお持ちの上、ご参加ください。

《ぶどうの会より》

本日、ぶどうの会はお休みです。

《シオンの会より》

七月一五日（水）一〇時三〇分～一二時シオンの会を地下ホールで行います。（オンラインも併用します。）テキスト「使徒言行録を読もう」p.二一〇 一五異邦人の光なる教会（一三章四二節～五二節）を読みます。新しく参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

《ルツの会より》

次週一九日の礼拝後、ルツの会を地下ホールで行います。民数記二六章から学びます。聖書、讃美歌をお持ちの上、ご参加ください。

《交 読 詩 篇》

※会衆は太字の箇所を唱和します。

〔司・会〕の箇所は司式者と会衆が合わせて唱和します。

【詩篇三十六篇】 指揮者によつて。主の僕の詩。

ダビデの詩。

神に逆らう者に罪が語りかけるのが
わたしの心の奥に聞こえる。

彼の前に、神への恐れはない。

自分の目に自分を偽っているから

自分の悪を認めることも

それを憎むこともできない。

彼の口が語ることは悪事、欺き。

決して目覚めようとも、善を行おうともしない。

床の上でも悪事を謀り

常にその身を不正な道に置き

悪を退けようとしない。

主よ、あなたの慈しみは天に

あなたの真実は大空に満ちている。

恵みの御業は神の山々のよう

あなたの裁きは大いなる深淵。

主よ、あなたは人をも獣をも救われる。

神よ、慈しみはいかに貴いことか。

あなたの翼の陰に人の子らは身を寄せ

あなたの家に滴る恵みに潤い

あなたの甘美な流れに渴きを癒す。

命の泉はあなたにあり

あなたの光に、わたしたちは光を見る。

あなたを知る人の上に

慈しみが常にありますように。

心のまつすぐな人の上に

恵みの御業が常にありますように。

神に逆らう者の手が

わたしを追い立てることを許さず

驕る者の足が

わたしに迫ることを許さないでください。

〔司・会〕

悪事を働く者は必ず倒れる。

彼らは打ち倒され再び立ち上がることはない。

《今日の子ども礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「主の言葉を信じて」

聖書 ヨハネ4章46〜54節

説教者 宮間 彰広兄

《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「罪を赦す権威ある主」

聖書 ルカ5章17〜25節

説教者 宮間 彰広兄

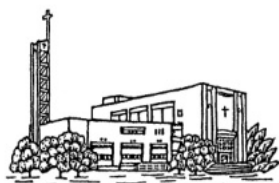
●主日礼拝（午前10時30分・礼拝堂）

讃美歌 7番 278番

説教 「惑わすものの狙い」

聖書 ルカ4章1〜13節

説教者 黄允湜 牧師





主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 69番 488番
説教 「天国を生きる人々」
聖書 マタイ20章1～16節(新約P.38)
司式 山下 純一 兄
聖餐司式 黄 允湜 牧師
説教者 吉村 和雄 名誉牧師

前奏曲「いつわりの世に別れを告げ」E.デーマー

○讃美歌69番

1. さかえに輝く み殿のうちに
あまたの御使 たがいに呼べり
「こよなく畏し 父なる神よ
天にも地にも みいつは満てり」
2. 天なる使の たえなる歌に
ものみな応えて 高らにうたう
「こよなく貴し 子なる主イエスよ
天にも地にも みいつはみてり」

3. 天地こぞりて たたうる歌に
調べを合せて 我らもうたわん
「こよなく清けし みたまの神よ
天にも地にも みいつはみてり」
アーメン

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。

○聖歌隊による讃美

「この世にあかしをたて」 R.V.ウィリアムズ作曲

1. この世にあかしをたて
御前に憩い集う
聖徒ゆえ御名を褒めん
ハレルヤ ハレルヤ
2. 聖徒の後に続き
雄々しかれ 兵(つわもの)らよ
御冠(みかむり)受くるまで
ハレルヤ ハレルヤ
3. 海よりも 陸(くが)よりも
歌いつつ 御門(みかど)に入(い)らん
父 御子(みこ) 御霊(みたま)の主
ハレルヤ ハレルヤ

○讃美歌488番

1. はるかにおおぎ見る かがやきのみくに
父のそなえまししたのしきすみかあり ※
(※くりかえし)
われらついに かがやくみくにて
きよきたみと ともにみまえにあわん
2. かがやくみくにて うきもなやみもなく
たのしきこえあわせ たえずともにうたわん ※
3. ちちのあいあふれて さいわい身にあまる
ゆたかなるめぐみを とこしなえにたたえん ※
アーメン

聖餐曲「讃490 あまつみ国は」D.ウット

後奏曲「聖歌」E.エルガー